

資料 1 大王谷学園中等部（大王谷学園区）

年間を見通したきずなづくり指導計画について

いじめの未然防止等のために、学校全体で組織的、計画的に取り組むために、年度当初に組織体制を整えると同時に、年間の計画を立てて、学校全体でいじめの未然防止に取り組めます。

	項 目	時 期	
絆づくり等のための措置	子どもが主体の活動	○異学年交流会の実施	7月、2月
		○ボランティア活動の推進	通年
		○学校行事での自主的、実践的な活動の充実	通年
		○学級活動等での話し合い活動の充実	毎月1回
		○生徒会活動の活性化	通年
		○異学年交流の充実	通年
		○「ありがとう」ボックスの設置	学期1回
		○生徒会による企画提示	通年
		○あいさつ運動	毎日
	教職員が主体の活動	○一人一人の実態に応じたわかる授業の展開	通年
		○自己有用感を高める集会の実施	毎月
		○規範意識や帰属意識を高める活動の実施	学期1回
		○職員相互の授業研究会の実施	研修会で計画
		○教育相談週間の設定	5月、10月、2月
		○教科や学級活動、総合的な学習の時間等を中心にした道徳教育や情報モラル教育の時間設定	※教科（単元計画に基づく）
		○人権週間の実施	12月
		○外部講師による講演会の実施	12月
	いじめの未然防止の措置		○PTA総会での学校の方針説明
		○学校通信を活用した絆づくり活動の報告	適宜
		○学校公開（オープンスクール）の実施	学期1回
		○保護者を対象とした研修会の開催	8月
		○子どもの発する具体的なサインの作成と共有 ※参考資料（別紙2、3）	毎月
		○教育相談週間の設定	5月、10月、2月
		○保護者に対する「相談アンケート」の実施	毎月
	○いじめアンケートの実施	毎月	
	○QU検査等、諸検査・調査の積極的な活用	適宜	
	○職員朝会での情報の共有	週1回	
	○進級時の情報の確実な引き継ぎ	通年	
	○ケータイ安全教室	5月	
	○無言清掃のまち『ひゅうが』	毎日	

※計画を作成するに当たっては、教職員の研修や子どもへの指導、地域や保護者との連携などに留意し、いじめ未然防止の観点から、絆づくり対策を推進していきます。

参考資料 2 大王谷学園中等部（大王谷学園区）

1 いじめられた子どものサイン

いじめられた子どもは自分から言い出せないことが多い。複数の教職員が、複数の場面で子どもを観察し、小さなサインを見逃さないことを大切にする。

場 面	サ イ ン
登校時 朝の会	遅刻・欠席が増える。その理由を明確に言わない。 教職員と視線が合わず、うつむいている。 体調不良を訴える。 提出物を忘れたり、期限に遅れたりする。 教室に入ろうとしない。 担任が教室に入室後、遅れて入室してくる。
授業中	保健室・トイレに行くようになる。 教材等の忘れ物が目立つ。 机周りが散乱している。（落書き） 特定の生徒の間違いに対して嘲笑がある。 決められた座席と異なる席に着いている。 教科書・ノートに汚れがある。 グループ活動で孤立し、協力して学習する姿が見られない。 教職員や子どもの発言に対して、突然個人名が出される。
給食 休み時間等	保健室によく行く。 給食時間、班の友達との会話がな 用のない場所にいることが多い。 ふざけ合っているが表情がさえない。 衣服の汚れ等がある。 一人で過ごしている。
放課後等	慌てて下校する。または、用もないのに学校に残っている。 持ち物がなくなったり、持ち物にいたずらされたりする。 一人で部活動の準備、片付けをしている。

2 いじめた子どものサイン

いじめた子どもがいることに気が付いたら、積極的に子どもの中に入り、コミュニケーションを増やし、状況を把握する。

	サ イ ン
	教室等において仲間同士で集まり、ひそひそ話や目くばせをしている。 ある子どもにだけ、周囲が異常に気を遣っている。 教職員が近づくと、不自然に分散したりする。 自己中心的な行動が目立ち、集団の中心的な存在の子どもがいる。

1 教室での子どものサイン

教室内がいじめの場所となることが多い。教職員が教室で子どもたちの様子をじっくり観察したり、休み時間に廊下を通る際に注意を払ったりするなど、サインを見逃さないようにする。

サイン	
	嫌なあだ名が聞こえる。（ふざけ合い、乱暴な言葉遣い） 席替えなどで近くの席になることを嫌がる。 何か起こると特定の子どもの名前が出る。 学習用具等の貸し借りが多い。
	壁や机等にいたずら、落書きがある。 机や椅子、教材等が乱雑になっている。

2 家庭での子どものサイン

家庭でも多くのサインを出している。子どもの動向を振り返り、確認することでサインを発見しやすい。以下のサインが見られたら、学校との連携が図れるよう保護者に伝えておくことが大切である。

サイン	
	学校や友人のことを話さなくなる。 友人やクラスの不平・不満を口にするが多くなる。 朝、起きてこなかったり、学校に行きたくないと言ったりする。 電話に出たがらなかったり、友人からの誘いを断ったりする。 学校から帰ってきてても、外出しないようになる。 受信したメールをこそこそ見たり、電話におびえたりする。 不審な電話やメールがある。 遊ぶ友達が急に変わる。 部屋に閉じこもったり、家から出なかったりする。
	理由のはっきりしない衣服の汚れがある。 理由のはっきりしない打撲や擦り傷がある。 登校時刻になると体調不良を訴える。 食欲不振・不眠を訴える。
	学習時間が減る。 成績が下がる。
	持ち物がなくなったり、壊されたり、落書きされたりする。 自転車がよくパンクする。 家庭の品物、金銭がなくなる。 大きな額の金銭を欲しがる。

いじめに対する措置（緊急時の組織的対応）

